

本 会 会 告

次期会長候補者および評議員候補者の推薦

次期会長および評議員（半数）選挙に先だち、次期会長候補者および評議員候補者の推薦を受け付けています。正会員各位に選挙人名簿および推薦用紙を郵送してあります。同封の注意事項を参照の上、9月16日（土）迄に届く様、推薦を行なって下さい。（本誌 前記掲載）

中川 和道（神戸大）、
原田繁春（阪大）、村田隆紀
（京都教育大）、山中高光（阪
大）、若林克三（阪大）

プログラム委員 実行委員+行事委員

日本放射光学会第3回年会

－開催要項－

1. 開催日 1990年4月26日（木）、27日（金）、
28日（土）
2. 場 所 大阪科学技術センター（大阪市西
区靱本町1丁目8番4号）
3. プログラム（案）
一般発表 ポスター+ポスター紹介
特別講演 1件
特別企画 3件
総会
4. 参加費
会員 3,000円、非会員 5,000円、
学生 500円
懇親会費 5,000円
5. 申し込み〆切
1990年1月20日（土）
発表者の内、1名は学会員であることが必
要です。
6. 予稿集原稿〆切
1990年2月24日（土）
7. 組織
実行委員長 植木龍夫（阪大）
実行委員 会田修（大阪府大）、石黒英治
（大阪市大）、宇山親男（循
環器センター）、勝部幸輝（阪
大）、川村 春樹（姫路工大）、

第2回講習会

テーマ：放射光ユーザーのための光源論

主 催：日本放射光学会

共 催：高エネルギー加速器科学奨励会（交渉中）

日 時：1989年10月24日（火）13：00

～10月25日（水）16：00

場 所：高エネルギー物理学研究所

研究本館会議室、放射光実験施設（検討中）

プログラム：

24日

光源用蓄積リング概論（13：00－14：00）

加藤 政博（KEK）

放射光の発生と挿入光源（14：00－15：00）

山本 樹（KEK）

ビーム不安定性（15：00－16：00）

坂中 章悟（KEK）

ビーム不安定性とアクティブフィードバック

（16：00－17：00）春日 俊夫（広島大）

《懇親会》（18：00－20：00）

25日

光源見学（9：00－12：00）

〈昼休み〉

蓄積リング真空の諸問題（13：00－14：00）

堀 陽一郎（KEK）

ビーム変動とフィードバック（14：00－15：00）

中村 典夫（KEK）

討論（15：00－16：00）北村 英男（KEK）

参加費 (テキスト代含む) :	
会員 (民間企業)	15,000円
(大学・国立研)	5,000円
(学生)	1,000円
非会員	20,000円
懇親会費	5,000円

定員 : 50名

申し込み締切 : 9月末

申し込み先 : 日本放射光学会事務局

〒112 文京区小石川2-3-4 川田ビル

アイオニクス(株)内

TEL 03-812-0920

FAX 03-812-3997

問い合わせ先 : 高エネルギー物理学研究所

放射光実験施設 北村 英男

TEL 0298-64-1171 ex.5059 PB207

FAX 0298-64-2801

1989年度 放射光シンポジウム 予告

テーマ 「EXAFSで物質構造がどこまで分かるか」

日時 1990年1月

場所 東京大学総合図書館 会議室

EXAFS法は放射光を光源として利用することによって飛躍的に発展してきた物質構造解析法の一つである。フォトン・ファクトリーでも当初から今日までEXAFSの実験が精力的に行われてきているが、これまでの研究でどこまでわかったのか。また、この方法の問題点、限界は何か、そしてそのbreak throughはあるのか、改めて考え直して見る時期がきたように思われる。そこで、これまでEXAFSの第一線で活躍してきている研究者を講師として、EXAFSの各分野での現状と問題点、将来の発展の可能性について議論するシンポジウムを下記のように開催したい。

プログラム (案)

1. 放射光を用いたEXAFS

EXAFS装置の現状、触媒のEXAFS、生体・溶液のEXAFSアモルファス物質のEXAFS、半導体のEXAFS、表面のEXAFS

2. 実験室系のEXAFS

3. 電子線を用いたEXAFS(REXELFS)

4. パネルディスカッション「EXAFSの将来の動向」

その他詳細については次号(11月刊)に掲載する。

第7回定例幹事会

1989年5月13日(土)、東大物性研で開催した。各幹事からの報告の他、会員異動、入会申込書について検討し、会員名簿原案、定款の別刷作製等を議論した。

第1回 行事委員会

1989年5月20日(土)、東大物性研で開催した。第3回年会、講習会、シンポジウム、講演会等の開催計画を検討した。

第1回 編集委員会

1989年6月3日(土)、高エ研放射光施設で開催した。第2巻第2号の評価、第3号および第3号以降の内容について検討した。

第8回 定例幹事会

1989年7月8日(土)、東大山上会館で開催した。会員異動、会員名簿作製、次期会長および評議員選挙実施要領、第3回年会、第2回講習会開催要領を検討した。また、将来計画に関する「特別委員会」設置について議論した。

第6回評議員会

1989年7月29日(土)、東大山上会館で開催した。主な審議・承認事項は、次の通り。

- 1) 正会員20名、賛助会員1社の入会、および正会員6名の退会を承認した。(7月29日現在、正会員数686名、賛助会員数69社)

- 2) 第4回, 第5回議事要録を承認した。
(本誌後記掲載)
 - 3) 1989年度会員名簿(案)を承認した。
 - 4) 次期会長および評議員選挙実施要綱(案)を承認した。(本誌前記掲載)
 - 5) 第3回年会, 第2回講習会, シンポジウムの開催要項(案)を承認した。(本誌前記掲載)
 - 6) 「将来計画特別委員会」設置について審議の結果それを承認するとともに, 同委員会委員長に菊田惺志評議員を選出した。
 - 7) 日本結晶学会主催「回折法による物質構造研究法入門」講習会を協賛することを承認した。
(同講習会については本誌「お知らせ」に掲載)
3. 田中庶務幹事から前回評議員以降に申し込みのあった入会申込者(43名)と退会届出者(3名)のリスト及び今回申込社(3社)を含む賛助会員リストが提出された。「入会申込書」, 「退会届」は, 年会会場で受け付けた7名の分と共に回覧され, 全ての入会, 退会を承認した。これで4月6日現在, 正会員は671名, 賛助会員は68社となった。
 4. 田中庶務幹事から1988年度の事業報告があった。
 5. 菅会計幹事から1988年度の決算報告書の提出及び収支に関する説明があり, 承認した。
 6. 田中庶務幹事から学会細則, 第4条第2項, 「評議員会は, 候補者全員の……」を「評議員会は, 次期会長候補者全員の……」に, 第4項, 「評議員会は, 候補者全員の……」を「評議員会は, 次期評議員候補者全員の……」に改正することについて説明があり, 承認した。
 7. 安藤評議員から1989年度選挙について, 評議員の中から担当委員を選出すべきだとの提案があり, 若干の議論の後, 田中評議員を推薦した。

第4回評議員会議事要録

日時: 1989年4月6日 12:00-13:30

場所: 日大文理学部

出席者: 安藤 正海, 石井 武比古, 岩崎 博, 植木 龍夫, 大隅 一政, 太田 俊明, 高良 和武(会長), 佐々木 泰三, 下村 理(行事幹事), 菅 滋正(会計幹事), 千川 純一, 旗野 嘉彦, 富家 和雄, 藤井 保彦(渉外幹事), 宮原 恒昱(編集幹事), 渡辺 誠, 田中 健一郎(庶務幹事), 柿沼 孝俊(事務局), 西野 三和子(事務局)
オブザーバー: 丸西 和幸(税理士)
1989年度評議員 / 大柳 宏之, 北村 英男, 木村 克美, 合志 陽一, 小早川 久, 谷口 雅樹, 富増 多喜夫, 早川 和延, 松井 純爾, 松下 正

議事:

1. 標記会議の議長に石井評議員を選出した。
2. 高良会長から前回評議員会以降の本学会活動について報告があった。また, 設立以来一年を経過して, 学会として大きく成長してきた旨が報告された。

第5回評議員会議事要録

日時: 1989年4月6日 12:00-13:30

場所: 日大文理学部

出席者: 安藤 正海, 石井 武比古, 岩崎 博, 太田 俊明, 大柳 宏之, 北村 英男, 木村 克美, 合志 陽一, 小早川 久, 佐々木 泰三(会長), 下村 理(行事幹事), 田中 健一郎, 谷口 雅樹(庶務幹事), 千川 純一, 富増 多喜夫, 早川 和延, 富家 和雄, 藤井 保彦(渉外幹事), 松井 純爾, 松下 正, 渡辺 誠, 菅 滋正(会計幹事), 宮原 恒昱(編集幹事), 柿沼 孝俊(事務局), 西野 三和子(事務局) オブザーバー: 高良 和武(前会長), 丸西 和幸(税理士)

1988年度評議員 / 植木 龍夫,
大隅 一政, 篠野 嘉彦

議 事 :

1. 標記会議の議長に石井評議員を選出した。
2. 佐々木会長から1989年度会長としての挨拶があった。
3. 佐々木会長から1989年度幹事について、庶務幹事・谷口 雅樹, 会計幹事・菅 滋正, 編集幹事・宮原 恒昱, 行事幹事・下村 理, 渉外幹事・藤井 保彦が提案され、これを承認した。
4. 谷口庶務幹事から会員の状況を一覧する為の資料として1988年度会員リストが提出された。また、1989年度の主な事業計画に関する報告があり、8月頃出版を予定している会員名簿等について説明があった。学生会員については、正会員と同格に名簿に記載される等の確認があり、学生会員を更に増やす様、一層の協力を田中前庶務幹事から要請された。
5. 宮原編集幹事から1989年度編集委員会委員ついて説明があり、今年度の編集方針として、第2巻第2号の内容予定及び第3号以降の計画に関する報告があった。また、年会会場での会員からのアンケート回収や編集委員相互の情報連絡を密にするなどの努力を通して更に充実した内容で発行活動を推進していく旨の説明があった。
6. 下村行事幹事から1989年度の活動として、年会、シンポジウム、講習会・ワークショップ、講演会等の開催計画に関する報告があった。
7. 藤井渉外幹事から前回評議員会以降の活動として、「HiSORシンポジウム」の協賛、「日本分光学会第25回夏期セミナー」の協賛、「German-Japanese Symposium on Science and Technology with Soft X-Rays」の後援等について報告があった。また、1989年度活動方針について説明があった。
8. 菅会計幹事から1989年度予算案が提出され、今年度の収支予算に関する説明があった。会誌

の郵送料、消費税についての質疑があった後、承認された。

9. 佐々木会長から日本学術会議物理学研究連絡委員会 久保 亮五委員長からの物性物理専門委員会委員推薦依頼についての報告があり、同委員会委員である石井評議員から委員会の任務に関する説明があった。委員推薦の取扱いについて種々の議論があったが会長一任となり、安藤評議員を佐々木会長が推薦し、本評議員会はこれを承認した。
10. 1989年度選挙担当委員として、第4回評議員会推薦の田中評議員を承認した。
11. 高良前会長から1988年度会長としての挨拶があった。

会員異動

7月29日に開催された第6回評議員会で、下記入会が承認された。

(正会員20名)

榎本 収志 (高エ研)
立花 康夫 (富士電機)
服部 健雄 (武蔵工大)
宮本 茂明 (ファコム・ハイタック)
高橋 令幸 (住友重機)
中山 光一 (東芝総研)
権沢 光昭 (住友重機)
池上 栄胤 (阪大)
盛 英三 (東海大)
森 浩一 (高エ研)
桑原 裕司 (理研)
朝倉 清高 (東大)
後藤 俊治 (富士通)
藤村 卓 (原研高崎)
長谷 洋典 (住友重機)
原田 繁春 (阪大)
五十嵐健二 (東芝生研)
奈良 安雄 (富士通)
杉田 義博 (富士通)
石川 典央 (出光興産)

(賛助会員 1社)

(株)東レリサーチセンター

(計報)

藤沢 俊男(阪大)

森川日出貴(東工大)

住所・勤務先等の変更

住所変更・勤務先変更・連絡先住所変更等のあった
場合には、直ちに本会事務局までお知らせ下さい。

会員増加にご協力を



本会では、会員の増加運動を積極的に行なっております。ご周辺の方で未入会の方がおられましたら、是非とも入会をご勧誘下さいますようお願いいたします。

入会申込みは本誌綴じ込みの「入会申込書」をご利用下さい。

その他、お問い合わせは下記まで…。

〒112 東京都文京区小石川2-3-4 川田ビル アイオニクス(株)内
日本放射光学会事務局

TEL 03-812-0920/FAX 03-812-3997
